不死身
毒薬
皇女のカメオ
DOJIN
R18

「東の国には、『嘴の無い不死鳥』がいて
不老不死と強大な力を得た代わりに
『愛』という感情のすべてを取り上げられた
不死鳥は、その長すぎる退屈を埋めるために
美しく、訳ありなものを探しているとか
『毒薬』とともに」

★あとがき★

本を手にとって下さり、ありがとうございます！
藤谷優歩と申します！
この、「時速100kmの性癖の塊」こと
不死鳥と毒葉シリーズですが、
こうやって本にできたことが今でも信じ
られません！
どうか、最後までお楽しみ頂ければ
幸いです。
全てのあとがきを自筆にしたかったのですが、
お察しの通り**とても字が汚いので**、
このあとは、フォントにて失礼いたします。

それでは！！

ふじよし

藤谷優歩

⚠ WARNING

18歳未満閲覧禁止です‼

※描かれているすべての登場人物は 18 歳以上です。

この作品はフィクションです。
実在の人物・作品・団体・出来事・場所などには一切関係ありません。

本書には以下の内容が含まれますのでご注意ください。
・同性愛
・ファンタジー要素
・暴力表現

●免責事項: 本作品に掲載されている情報、または本作品の利用によって生じた
いかなるトラブル、損失、損害に対して作者は一切の責任を負うものではありません。
●本書の転載、編集、トレース、転売、使用を禁止します！

●Disclaimer: The author takes no responsibility for any trouble, loss,
or damages resulting from the information posted on this work or usage of this work.
●DO NOT REPOST, EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS!

ゴオオオオオ
おとうさん…
おかあさん…
はるか……
あ……っ…
うわああああ

不死鳥と毒薬

ー皇女のカメオー

全国高等学校剣道大会
個人戦　優勝
木下 透
ヤァー
バシッ
メーン
ダーン
ありがとうございました！
木下センパイ！
お疲れ様です！今日も超かっこよかったです！
お、おう…ありがとな…
わっ
さっすが3年連続全国一位！憧れます!!
どうしたらそんなに強くなれるんですか!?
あのっ…！よかったら今から俺たちに指導してもらえません…
カチッ

って…
えー!?
帰り支度
はっや!!
ワリ、また
今度な~!
おつかれー!
おかえりなさいませ!
あーあ…
いっつも
急いで
帰るよなあ…
センパイ…
はぁ~
あー、頼むんなら
朝練にしろよ。アイツ、
夕方は無理だからさ
えっ!!
なんで
ですか!?
くるっ
お前ら
1年だから
知らないのか
入院
してんだよ
アイツの弟
子どもの時の
事故で両親
亡くして…
弟も後遺症で
ずっと意識が
戻らない
らしくて…—
弟の面倒見るために
毎日学校終わったら
病院に直行してんだよ
うわ、
やっぱ…
片付け
してたら
ギリギリだ…

ハアハアハア
面会時間…
間に合うか…？
……――？
なんか…
いつもと……
……なんだ…？
ビクッ
ゾゾゾ
!?

何…ッ…
何か、ぶつか…
いや……
誰…!?

なんだ、こいつ…ッ
なんでこんな…
ガスマスク…!?
木下透だな
俺の…名前…!?
カメオはどこだ?
は…!?カメオ…?
何だそれ…
お前の親が20年前に骨董品店から購入したものだ
俺はそれを探しに来たお前が知らないなら…知ってるのは…
ザアイ アイ
弟のほうか
ヒュッ

……おいおい…
やめとけよ…
弱い相手をいじめる趣味は…
ああああああ

ッ…本気で
入れたのに…
びくとも…ッ…
ふーん…
ヤバイ…
こいつ…
雰囲気が…
オイオイ
こいつは嬉しい
誤算だな…！
――…いいぜ

来い
ちょっと
遊んでやるよ
俺に勝てたら
弟のことは
忘れてやってもいい
ハハ…
いいねぇ
本気で
来いよォ!!
ウー…!!

ハッ
ビクッ
重…ッ…
!?
へえ
やるじゃねえか
人間にしては
ハッ
ビュン
っく…!!

ありえない!!
ヒッ
ムシ
お
入っ
た…!

惜しいな
もう少し下だ
ぐいっ
ウソだろ…
いいセンいってたぜ
あーあ…もう少し時間がありゃなあ…
残念だよ
ビッッ
ぽた…
グッ
…ぁ…
ここで終わりだ

!!
!!
うッ…!!
さぁ、お楽しみだ
お前も楽しめよ
煽ったのは
そっちなんだからよ。

ガッ
こいつ…！
バタ
俺、男だぞ…！
やめっ…やめろ…!!
バタ
しゅる…
はぁ…？そんなもん
穴があれば
同じだろ
ッ――――…！
やめっ…
ガクガク
ヤバイ…ヤバイヤバイヤバイ

い、いやだ…
やめっ…
ハハ…
こっちもなかなか
だったぜ
ぐぐ…
じゃあな、
坊主
バシ
—…あ？
た…頼む…
弟、には……
手…出さないで
…くれ…俺は…
どうなっても、
いいから…
頼む…!!

知るか
テメーの
都合だろ

……
カメオを探せ

……――――

たった1人の…
家族なんだ…!

交渉の余地は
それしかねェ
警察に話しても
状況が悪くなるだけだ
お前らのことなんか
どうだっていいんだよ

…『あいつ』には

忠告したぞ

中央総合病院

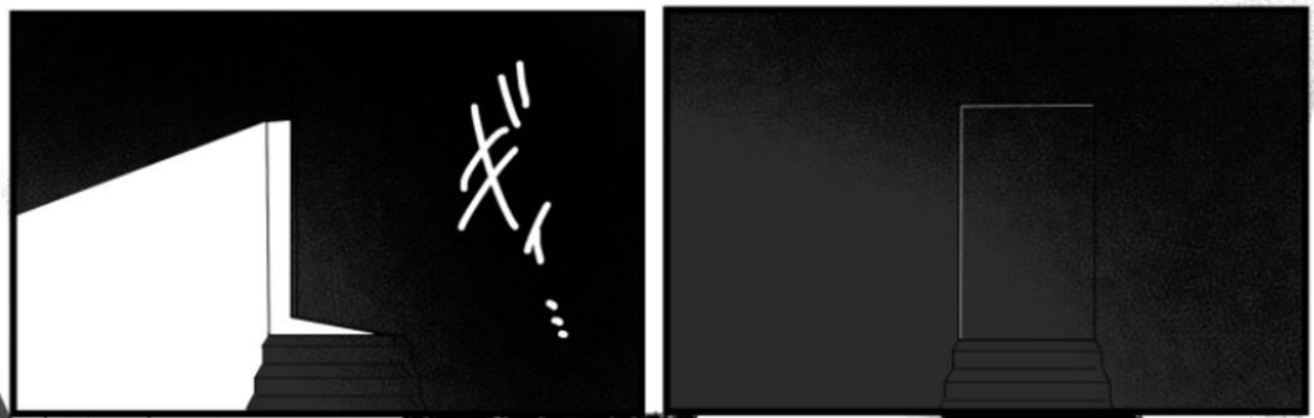
びっくりしたー…
ねー…遙くんのお兄ちゃんあんなに怪我して…
ここに来る途中の公園で襲われたって…
えー…怖…大丈夫かな…
507
木下　遙
64
92/45
98
……
スッ…
遙…
いっ……て……！
ピリリッ
あの男……

どうしてアイツは
俺たちを狙う…？
カメオって
何なんだ…？
でもそれを
探さないと…
あいつはまた…

忠告って…
どういう
ことだ…？

…『あいつ』…？

『あいつ』には


ギィ…

ゴッ…

ゴッ…
ゴッ…
おかえり、アサト
びくっ
ずいぶん遅かったね
それで…
すっ
カメオ
見つかった？

……いや…
あはははははっ！
そうだよねぇ～
アサトには
荷が重いだろうと
思ってたしねえ
それよりさ
君の一番
大事な仕事は
何だっけ？
ちゃんと
言葉にして
教えてよ
ッ…！
～～～～…ッ!!
…俺、はっ…

あなたに
抱かれるために
存在しています…

ガサ
ガタッ
…やっぱり…
ガサ…
どこにも無い…

母さん…
カタ…
なんで俺たちが
こんなことに…
早くしないと…
遙が…

ふわ…
…運が悪いな…
お前も…
チッ…
ハァ
ハァ
ろっ
やめろ
おじおろ

うっ…
うっせェなァ…
騒いで怪我人
増やしてーのか？
つーか、
それが人を
殴ろうってヤツの
ツラかよ
凝りねェなァ…
お前も…
ッ…当然だろ…！
あんなこと
しといて…！
お、弟には
触るなっ…
ハァー……
ギッ…
うるっせェなァ…
一回ヤられた
くらいで…
なっ…!!
そんなことより

カメオは
あったのか？
！
…いや…
…どこを
探しても
なかった…
そもそも
親がそんなもの
持ってたことも
知らないし…
もう亡くなってるし…
うちには
もう…
オイ
ビクッ
な…何…!?
このカメオだ…
え…
オイ!!

やっぱ
あんじゃねーか！
死ぬ気で
探したのか!?
探した!!
探したって！
ぐぐぐ…
言っただろ！
アイツに言い訳は
通じねェ！
早く見つけねーと
弟どころかテメェも…
ていうか…
もっと落ち着いて
話せないのかよ…！
バカヤロウ!!
ばた
どう…ッ…
――――…あ…
震え…?!
…?
うふふ

ずいぶん
楽しそうなこと
してるね
僕も混ぜてよ
いいでしょう？
アサト

…っ…！
なん…て…
美しい…
まるで…
神様……
き…京介!!
待ってくれ！
カメオは必ず俺が…！
だから、まだ
こいつらは…
ツ
え……
ねぇ…
アサト
僕、
怒ってるん
だけど

ぐっ……！
ねえ、アサト…
僕もういいって
言ったよね？
それなのに、
君の一番大事な
『仕事』を放って
一体どういうつもり？
君、僕が一番怒ること
わかってるくせに…
どうしてくれるの？
君のせいで僕、
とても気分が悪いよ

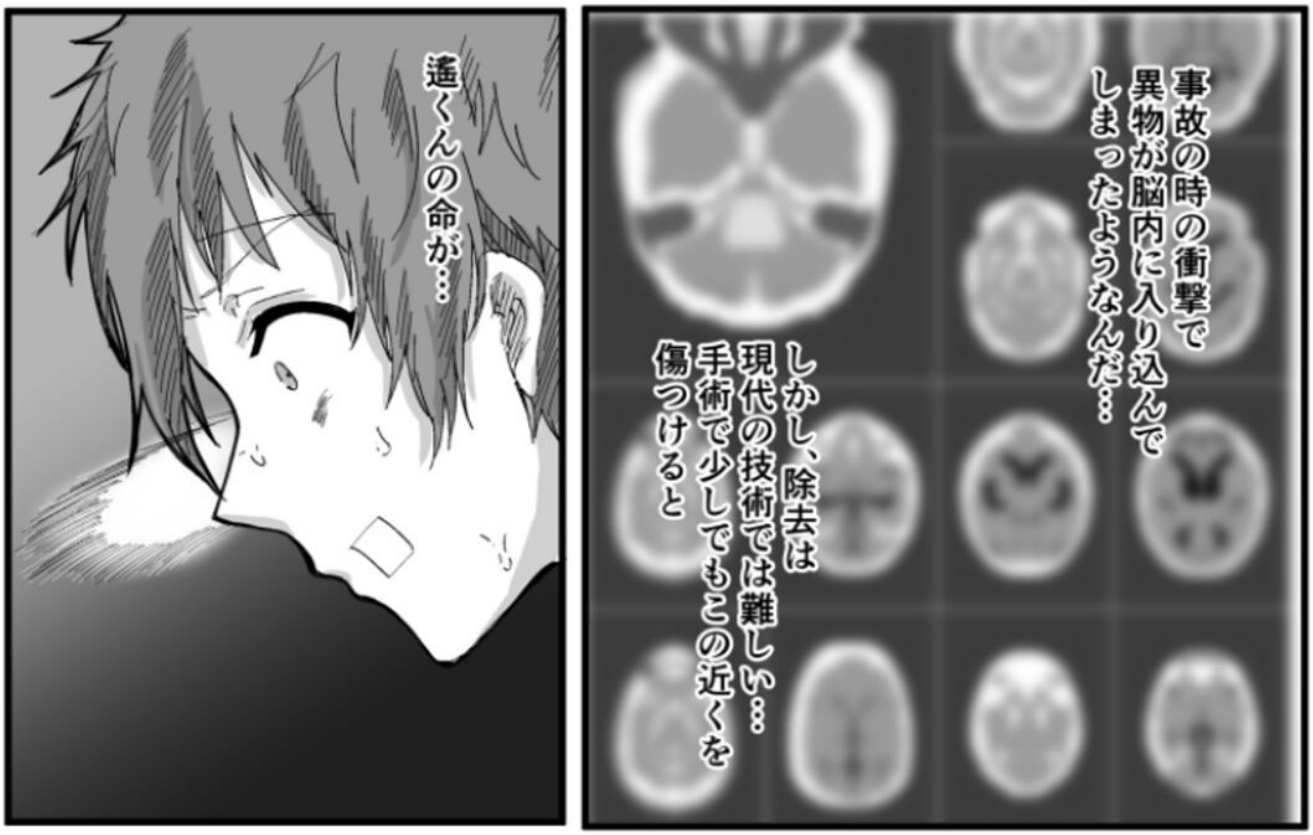
返事は？
京…ッ…
ダメ、
やり直し
がっ…！
ごっ……
ごめん、
なさい…！
父さん…！

うんうん
イイコだね♡
アサト♡
スッ
帰ったら
気が済むまで
抱いてあげるから…
いいね？
ッ…！
ピクッ
一回。
ヤられた
くらいで…
ギュ…
さて…
スッ
ビクッ
おまたせ♡
ニヤッ
まずはお話
しようか
ヤバイ…
悪魔だ…
アサトっていうヤツより
はるかにヤバイ…
生きてやり過ごせる
気がしない…！

アサトから聞いてると思うけど…
カタ…
僕、このカメオを探してるんだよねだから
君の知ってること、教えて欲しいんだ
あ……ッ…
話せ…！
何でも良いから、心当たりのあることは話せ…話を途切れさせるな…
アイツは気が短い…
価値がないと思ったらすぐに殺されるぞ…
なんとか納得させてここから離れさせるしか道はねェ…
んな…こと…言ったって…
あ…、…え……その…カメオ…母親が持ってた…ぽいん、ですけど…
もう…8年前に、死んでて…
その写真は…事故の日に撮ったものだけど…
事故後の遺品とか…車からも…出てこなくて…
派手に車も…燃えてたから…一緒に焼けちゃったかもしれないっていうか…

とりあえず、
ウチには…
なーんか
ピクッ
必死じゃ
ないよね
そのくらいの
情報は
知ってるよ〜
僕はもっと君が必死で
思い出した記憶にヒントが
あるんじゃないかって
思ったんだ
まあそれでも
これしか
出てこないってことは
やっぱりもう意味
ないかなあ
それとも…
オンッ
賭かってるのが
自分の命だけ
だからなのかな
!!
一つ教えてあげる。
そのカメオは
いわくつきでね
君たちはまだ
呪われてる
みたいなんだよね〜

ハルカ!!
だから僕にはまだ君たちが持ってるってわかるんだよね
挑発に乗るんじゃねェ…! マジで弟が死ぬぞ!
随分とその子に肩入れするね ま、いいけど♡
いいか、アイツは嘘つきだが今いってることは多分マジだ
何でも良いから必死で思い出せ
事故のあと他に何か無かったか
そんなこと…いわれ、たって…
…透くん…残念だがご両親は…弟の遙くんも…意識が戻ることはないだろう…
これは遙くんの脳の画像だが ここの影がわかるかい?


事故の時の衝撃で
異物が脳内に入り込んで
しまったようなんだ…
しかし、除去は
現代の技術では難しい…
手術で少しでもこの近くを
傷つけると
遙くんの命が…

……異物……
は…遙の、
脳内に…
事故の時…
異物が…
あ……
で、でも…
それを取ると…
は…遙は…
死…ッ…
だから…
へぇー

うんうん！
いいよー！
そういうのを
待ってたんだよ！
じゃあ
遙くんの頭を
ほじって
それを出して
みればいいんだ♡
なっ!!
や、やめろ!!
そんなこと
したら…!!
遙の
命が…!!
ぐっ…!!
やめっ…

201
BP
0/0
SpO2
0
ETCO2
0.0
ピーーーー
ガク
ガク
ガク

お前の『能力』で…
えー…それって
お願いしてるの？
僕まだ
君のこと許して
な…
へぇー…！
あの匂い
君だったのかあ！
は…!?
いやぁ、
アサトが珍しく
若い人間の匂い
させてるなぁって
思ったんだ！
僕ねぇ、他の男の
匂いのする
アサトを抱くのが
とびきり好きで！
キャッ
キャッ
だからもうすっごく
興奮しちゃって～♡

あの日は最高だったなぁ～♡
そんな話今どうだって…！
ふふ…そっかあ…
じゃあ…
京介、間に合わなくなる…！
ご褒美
あげないとね
…
イめこ
遥…！
遥ッ!!

ハルカッ…!!
遥っ…
あぁあ…!!
なんでっ…
なんでっ…!!
っぁ…っ…
……誰…?
…ッ…!
……お兄……
ちゃん……?

あ…
あ……？
遙…？
ほ、ほんとに…
はるか…
なのか…？
うん…？
…なんか
お兄ちゃん
おっきい…
遙あぁ！
帰るよアサト
君の気も
済んだでしょ？
自分で
歩いてきてよ
面倒だから
……ああ
アサト！

ありがとう!!
あ…あの……
ハッ…
お人好しのバカめ
じゃあな

オトオトオトレリ、
バタバタバタ
サンキュー
兄ちゃん！
行ってきます！
兄ちゃんも
遅刻しない
ようにな！
ほら弁当！
ガラララッ
ピシャン！

はいはい！
あれから一年…
俺は目覚めた遙と
2人暮らしを
しながら
大学に進学した。
あの夜のことは…
今でも夢に見る
最低な思いも
させられたけど
確かにアレは
奇跡だった
だからいつか…
もっとちゃんと
あいつに礼、
言えたらな…
元気に
してっかなあ…
「アサト」
今頃
何してるんだろう

はあ…
気持ちいい…♡
楽しいねえ、
アサト♡
君もそう
思うでしょ？
…あぁ……
そうだな……

【登場人物・詳細紹介】

木下　透（キノシタ　トオル）

18歳　身長：175cm/体重：68kg
県内の高校に通う高校３年生。
剣道は中学のころから
全国大会を連覇する腕前。
幼少期に家族が事故に巻き込まれた際に
何もできなかったことを悔いており、
強くなって弟を守りたいと思っている。
将来の夢は警察官。
気は強いほうだが年齢よりも
落ち着いており、弟の遥のほうがやんちゃ。

皇女のカメオ

はるか昔に実在した、皇女の肖像を刻んだカメオ。
政治的策略により家族に裏切られ
16歳と３日という若さで見せしめのように凌辱・処刑された悲運の女性。
彼女が16歳の誕生日を迎えたときに、
両親が彼女にプレゼントしたのがこのカメオである。
処刑されてから彼女は歴史上存在しない人物として扱われ、
記録に残っているのは兄と妹のみ。

以降、このカメオを手にした者とその家族は非業の死を遂げるとされ、
日くつきの品として闇に流れていった。
しかし、一目見ると手に入れたくなるほどの魅力を持っており、
今までに呪いを受けた人間は相当な数に上る。

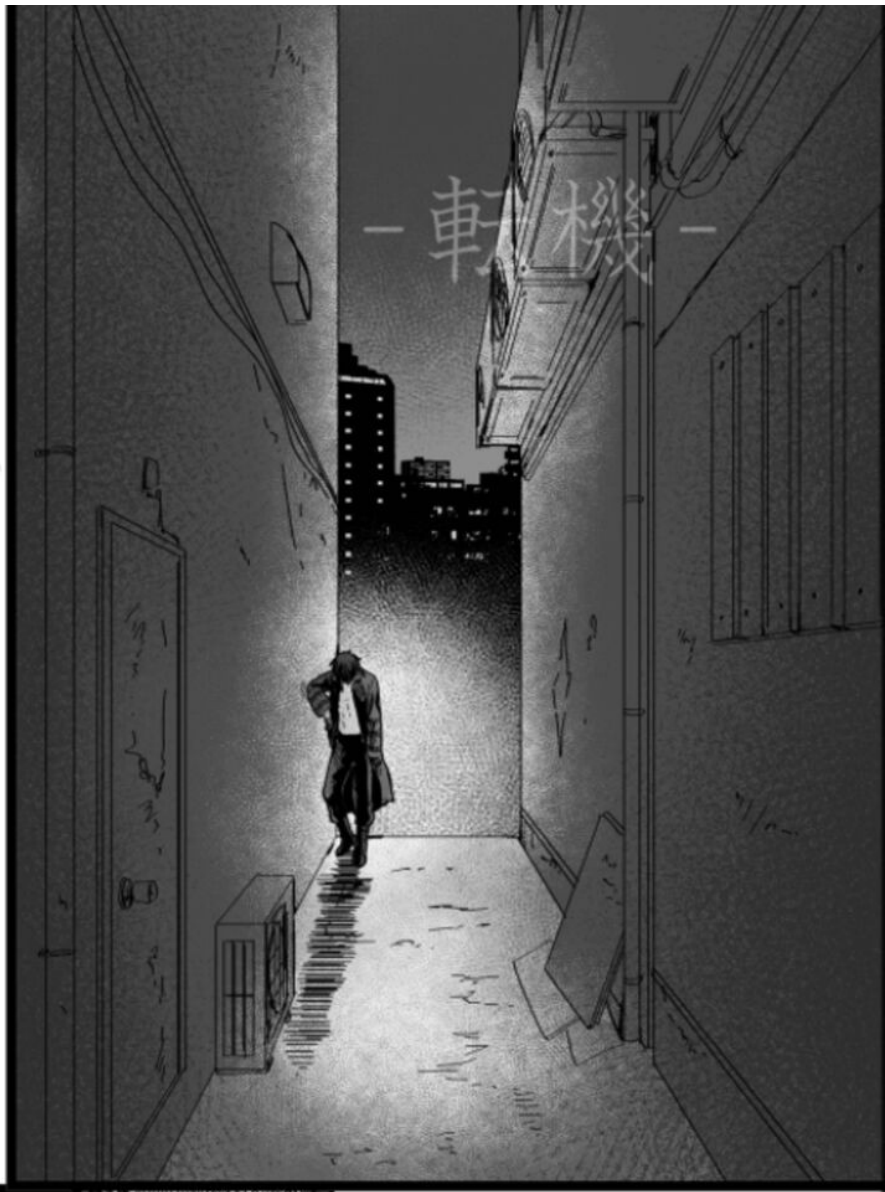
京介/アサト

京介

その姿を見た者は、口をそろえて
「絶世の美男」というほどの容姿を持つ男。
その正体は『愛』という感情の
すべてを持たない化物。
愛がない故に良心もなく、
あるのは性的快楽への底なしの欲望と
奇妙で美しいものを収集し、
愛でることへの興味のみ。
美しい外見とは裏腹に、
「悪趣味の塊」のような内面を持つ。
気まぐれで嘘つきなうえ、
狡猾で残虐な面をも持ち合わせている。
自ら「造った」息子のアサトを従わせ、
退屈しない日々を求めている。

アサト

京介に追従している、ガスマスクを身に着けた男。
粗野で粗暴。常にやる気がなさそうな気だるげな様子だが
ヒステリー気質で、一度火をつけてしまうと非常に厄介。
特に、異常なほどの戦闘狂で、
戦闘中に得た刺激はすべて性的興奮に繋がるほど。
京介の護衛のように見えるが、実際は彼の息子であり、情夫。
本人は男に抱かれることを心底嫌がっている。
体液や分泌物のすべてに非常に強力な薬物効果があり
濃度をコントロールすることはできるものの、
普段は面倒なためガスマスクをつけている。
常人では吐息がかかるだけで昏倒するほど。


－転機－

ジャリ…

がばっ
クソッ…
あ～～…!!
ガキを
レ○プ
しちまっ
たァ～～!!

クッソ…ガキに手を出すときはせめて合意の上でするって決めてたのに…
一発いいのもらったら全部ふっとんじまった…！
ぐるぐる
でも一応俺だって怪我させねーように軽く蹴り飛ばしたのに…
アイツが手ェ出して来るからこんな…
言い訳にならねェ〜〜!!
ろくでもなさすぎてビックリするわ!!
あ〜〜…!!
絶対あとひくヤツだろこれ!!
もう取り返しつかねーよ!!
ぉぉぉぉぉ
アイツと同じ……
これじゃまるで…
ッ……!!
クソッ…
ストッ

こうなりゃ
せめて…
ハァ…

ガキどもの
命くらいは…
中央総合病院

ここまで本編を読んでいただき、ありがとうございます！
「これってBL…？」っていう内容になってしまいましたが…
お付き合いくださって本当にうれしいです！

今回本編とその後の話の間に入れたのは、
本編に差し込みたかったけれど全然差し込みどころのなかった
「なんでアサトがいきなり透に肩入れしてるのか」
という理由です。

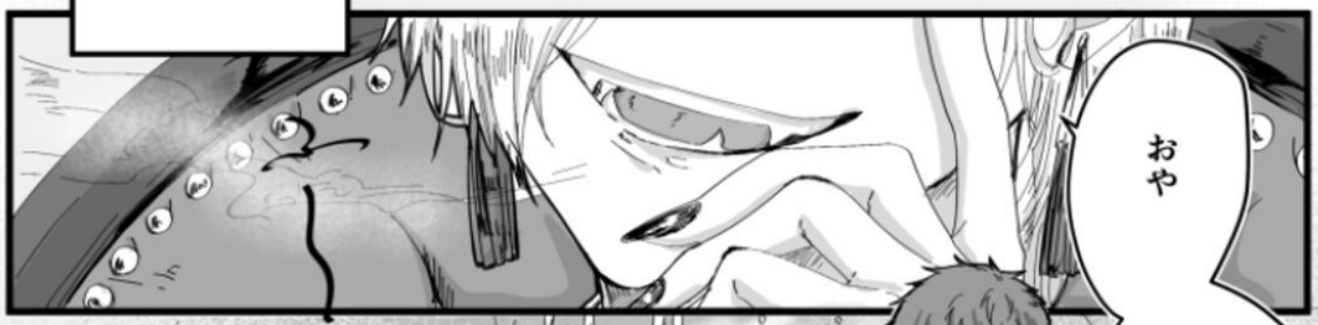
よくわからないなけなしの倫理観によって
自分がされていて酷く辛いことを、自分より弱い相手にしてしまったー！
というところが大きいですが
それ以外にも、透の家族を思う気持ちにぐっときたというのもあります。
自分の親はこーんなにもろくでもないのに、
こんなに家族を思えるんだなあ、と感動してしまったのでしょう…。
作中でそれを表現できなかったのが悔やまれますが(笑)

というわけで、本編はここで終わりですが
この後は５年後の透と京介・アサトの話になります！
18歳だった透も23歳になり、体格も大きくなっており…
登場人物が成長するという禁忌を犯していますが(笑)
この後はガツッとBLエロ展開になりますので
心してお進みください(笑)

俺には

感謝しても
しきれない…
そして

同時に
どうしても
許せない
男がいる…



おや

そもそも
日本に来るのは
久しぶりだし

君のほうから
ここまで
たどり着くのは
結構難しいと
思うんだけど…

君とは縁が
あるんだねえ…
えーと…

木下 透くん
どうやって僕らの居場所を知ったのかは気になるけど…
まあいいや
…僕に用事じゃないんでしょ？
あの…ッ…
ふふ…いいよ、たまには「良い人」になってあげても
ちょうど今日は外に出る用事もあるし
それに
僕にも
「お楽しみ」を残しておいてくれるならね
すり…
あぁ、君って本当いい匂い♡

アサトなら
あの奥にいるよ
じゃあ
楽しみにしてるね
パタン…
ハッ!!!
はぁ〜……
……
よし……
…アサ…
ユッ

ボスッ
うわっ!?
あっ…!!
ぐわん
ちょっ…!?
ぐぐっ
なんで来た!
このクソバカ野郎が!!

バカとは思ってたが
まさかここまでとはな!!
平和ボケしてんのか!?
京介とツラ
合せてンなら
わかんだろうが!!
今頃死んでてもおかしく
ねェんだぞ!!
そんなに命を
粗末に
してェんなら
今俺が
アサト!!
ばっ
ごめんアサト
お前の
言ってることが
全部正しい
本当、悪いと思ってる
俺はどうしようもない
バカだ
…お前と
話がしたい
……
ぱっ
チッ…!
それで?その
救いようのない
バカ野郎が
命をなげうってまで
俺に一体どんな
ハナシがあるって?
……つーか
さっきのアイツの
言葉の意味

…わかんねェほど
初心じゃねェだろ？
……ッ…
あぁ……
…じゃあ話しながらでいいだろ
ストップ!!まてまて!!まだ待って!!
はァ!?
ふざっけんなテメェ!!わかってんじゃねーのかよ!
わかってる!!わかってるけどまだ!!
物事には順序ってもんがあるだろ!
外!!一回外行こう!!

…俺寝てねぇんだけど
ま、まあまあ！
ほ、ほらまずはお互い肩の力抜いてさー…
久しぶりに会うんだし時間もあるし
少しくらい
遊んでも…

じろっ
はっ
…んだよ
や、あの…
今日はあの服
じゃないんだなーと
思って…
あの服
じゃあ
あの…
ガスマスクも…
質問の多い
ヤツだな…
俺らが人間じゃ
ねーことくらいもう
わかってんだろ
今みたいに
限りなく0にすることも
できるが…
めんどくせー時は
マスクをつけてる
俺の体液とか
息には麻薬と
同じ効果が
あるんだとよ
まあでも
役に立つときも
あるぜ
痛くなかった
だろ？
あれは…
京介の趣味であって…
あんな変態みてーな
格好で真っ昼間に
出歩けるかよ
変態の自覚は
あったんだな…
あ……
そーなんだ…

あの時

……お…ッ…
怒ってる？
ったりめーだろ

あ～～～
こんだけ
ひっぱっといて
さぞ大層な
おハナシ
なんだろう
なァ～!!
……あー…

あっ！
カラオケ
カラオケ
アサト！
カラオケ！
とりあえず
カラオケ
行こう！
……
俺は
歌なんて
歌わねェよ

いーから!!
カラオケ
歌わねぇって言ってんだろ……
ゲーセン
お前が持って帰れよ
ファミレス
ちょっ…
普段食器使って食わねーんだよ
ありがとうございましたー
ぺろ

散々
引っ張り回して
答えは
出たのか？
で？
え……
何考えてるか
なんざ
知らねーけど
お前は忘れてる
ようだが…
……あぁ…
わかってる
こっちは話を
聞いてやる
必要なんて
ねェんだぞ

じゃあ…
なあ、アサトは…
何か今、やりたいこととか…ないかな
ハァ…!?
これで最後だから!!
それが終わったら…ちゃんとまとまると思うから…
だから…
……クソ…
頼むよ…
わかったよじゃあ
喧嘩しようぜ
ピキ
パアッ

ダメに決まってんじゃん!!
イッ
俺、部屋着だし!!
んだよつまんねーな
やりてーことなんかそれくらいしか…
あ
風呂に入りたい
はぁ〜〜…

ご……ごめんな…
家族風呂があるのこの旅館だけで…
しかもアサトにお金出してもらって…
別に…
…朝からそのまま気持ち悪かったし
京介も金だけは自由にしていいっつってたからいいだろ
つーか
見すぎだろ
いや…そんなッ…!!
そんな?一日中じろじろ見てたくせによ
み、見てない!見てないって!!
は?俺が気付かねぇとでも?相変わらずアホだなこれから自分を抱く男の品定めでもしてんのか?
それとも、元々男が好きとか?
あー…もしかして

俺に犯されたの思い出して
興奮するとか？
っ……
ピチャ…
だんまりかよ
つまんねーな
はぁ…
先行くわ
バッ
ま…待って
アサト…!!
バシャッ
がしっ

ごめん
ごまかしたい
わけじゃなくて…
ただ…
上手く言葉に
できなくて…
……それに
アサトが
言ってる
ことも……
半分…
合ってる……
お前達が
去った後
夜に
なるたびに
俺は
お前のことを
考えてた

今どうしてるだろうとか
どうして俺にあんなことをしたんだろうとか
今もあの恐ろしい男と一緒にいるのかとか…
目を閉じると
"あの時"を思い出して息がつまるのに…
！
同時に
お前がまた"奪われて"いるのかと思うと…

しゃっ
あ…
はっこ
しゃっ
しゃっ
はあっ…
ふっ
ふー…
っ…あ…
しゃっ…
しゃく…
俺は…
っあ…
ちゃ
ちゃ
ちゃ
確かにお前に
感謝してる…
でも…
いっ…
そのたびに…
わからなくなる
お前を
恨んでいるのか
救えないのが
後ろめたいのか…
それとも…
他の何かなのか…
わからなくて頭が
グチャグチャになって
苦しいんだ…ずっと…

だから…もう一度
お前に会って
確かめたかったんだ…
…下らねェ…
心底
呆れるぜ
犬に噛まれたとでも
思って忘れちまえば
いいものを…
まさかクソ性癖に
目覚めた
落とし前付けに
命賭けて…
そう
だよっ!!
お前のせいで
俺の心が
めちゃくちゃに
なったんだよ!!
今まで信じてた
正しいことも
人を救いたいって
思いも
誰にも言えない
ようなこと
ばっかり
考えるように
なって…
全部
めちゃくちゃに
されたんだ!
その上…
忘れさせても
くれない
なんて…!!
責任取れよ!!
ざっ
責任…
ねえ…

…それで
具体的にどう責任取って欲しいんだよ
……ッ…
やり直したい…ちゃんと…
あの夜の…ことを…

ハァ……
結局やることは一緒じゃねぇか…
しゅる…
そわ
そわ

……そんじゃまあ
すっ
ヤるからには
よくして……
あっ…
あのさ!!
逆がいいん
だけどっ!!
攻
受
は?
テメー
フザケんな
この期に
及んで!!
ざざざざ
いや俺だって
男だし
当然じゃん!!
じゃあせめて交代!!
交代で!!
どうせなら
ソッチの初めても
させてくれたって
いいだろー!!

HAJI METE

童貞なんだよぉ…
ぐっ…

童貞のくせに
この俺に
喧嘩売ったんだ
俺をその気に
させてみろよ
びくっ…
あぁ…もう
わかった
一回だけだぞ
ぱっ
ほら…
ぎゅ…
しっかり
確かめろよ
想像と
同じか…
なあ？
すり…
わり…

ぬる〜…
ちゅく
ちゅく
かぷ
つぱ
ぱの
あ〜…
あっ…あっ
えっ…
うわ
耳ッ…
やば…
ゆさっ…
ソク
ソクッ
ふ〜
ふ〜っ
ふ〜〜〜っ
ふるるっ…
はぁ…
はぁ〜…
おいおい
ちょっと
耳舐めただけで
こんなに
なってんのかよ
そんなに
よかったのか？
恥ずかしいなあ…
はっ
はっ
かぁ〜…
っ…

おい
休んでるヒマないぜ
あっ…!!
UNくんっ
ごりっ
先っぽいじめられるだけで満足か？
ごりごりごりごりごりっ
あっ…ア、マジ…で、そこっ…
弱い…ッ…から…
ぐりぐりっ
そういうのも悪くねェが
もっと欲しがって見せろよ
するっ
なあ　どうしたい？
ぐりぐり

ちゅ…
は……
あ…
ぺろ…
ホラ
もっと口開けろよ
ヤバい……
ぞくぞく…
かぷ
くちゅ…
くちゅ

アサトの手も…舌も…
チャッ
想像とは
チャッ
ぐりぐり
比べ物にならないくらい…
気持ちいい……っ…
アサト…っ…
もう……

中に…
入ってみたい…
…しょうがねェな…
欲しいンなら
自分で取りに来いよ
できるだろ？優等生
ハッ
……
こんなにとろとろなくせに一丁前なこと言いやがって
なで
っ…
ぐっ…
はっ…
はぁ…

のしっ
はは…
がっついてんなあ…
逃げねェって
そうそう…
ちゃんと狙えよ
ぬるっ
ぬるっ
は～～…
ぴとっ
そのまま…
……ッ…ア…
ぐっ
うっ…
ずんっ
とん
みち…
みち…

どろ…
やば…
俺の…が…
アサトの中…
濡らして…
溶けてる……
はっ…
はっ…
もっと……
っ…ほら…
腰…振って、
みろよ…
…そう…ッ…
ぱんっ
ぱんっ
ぱちゅっ
…上手い…
じゃねェか……
優等生の…
クセに…ッ…
ずちゅっ
ずちゅんっ
あっ!!!
う、ァ…マジで…
気持ちいい…
全部…溶けそ…
でも、
これ……
ずちゅんっ
ぱちゅっ

俺だけが……
はっ…
ふー…
ふぅ…
ん…
ん…
ん

アサト…
俺ので…
感じてくれて
たんだな…
さら…
ッ…ちが…
!!
ここから、
奥とか…
奥、グリグリ
すんの…
どう…？
気持ちいい…？
やっ…
めっ…!!!

ばしゅっ
て、めッ…!!
童貞の…
くせにっ…
調子
のんじゃ…
ばしゅん
すりっ
すりゅっ
ビクビクッ
いっ…
!!!!
…も…
マジ…で…
ぱんっ
ぱちゅんっ
ぱんっ
やめっ…
もう…!!
ぱ
ぴくっ
ぴくぴくっ
――ッ…!!
っは…ァ……
ぬぽ…
アサト…
は～…
は～…
は…

クソ…
童貞が…
好き勝手
しやがって…
ちゅく
ちゅくっ
ちゃくっ
がく
がくっ
ふん…
それなら
俺も
遠慮なく
ぺろっ
な、なあ…！
この格好めちゃくちゃ
恥ずかしいんだけど…!!
仕返し
わざと
やってない!?
痛ェのは
イヤなんだろ？
ぁー…でも
あんまするとクセつくしな
ぺろ
す!!
!
うぁっ…!?
そろそろ…
ぐいっ

散々やってくれたからなァ
ずぶぶ…
くぅ…
ほら、ここだろ？お前のいいとこ
ぐりっ
ぐり
どうしよう…これ…っ…
ずぼん
うぐっ
俺っ…中で…感じて…
ぐぐ
あー……もっと奥
突きてェなァ…
ぐいっ
えっ！ちょっ…!!
はぁ

ぐいぃ
ぷん…っ
はぁ…
あぁ…っ♡!!!
ばちっ
ばちゅんっ
ばちゅっ
あっ
うっ
ハハ…
ほとんど初めて
なのに…
わさっ
ゆさっ
奥まで
突っ込まれて
おっ立てるとか…
お前、素質
あんなァ…
ばちんっ
ガク
うぁ…
あっ…!!
俺ッ…
もうッ…!!
ガク

もっと…
たくさんしたい……

それから…
アサトは一回って
言ってたのに
何度も俺を
受け入れて
くれて
俺も…
何度も…
結局……
朝が来るまで
ずっと……

はァ…
クソ…
結局
二徹かよ…

そんじゃまあ
お前の気も
済んだだろうし
これで
サヨナラだ
永遠に
……うん…

あのさ…
アサト…
その…本当に
ありがとう…
俺のワガママに
付き合ってくれて…
今日のことは…
一生忘れない
と思う…
でも…

ごめんな
色んなとこ
連れ回して…
迷惑だし…
つまんなかった
よな…
……

つまらないとは
一言も
言ってない
じゃあな

……
ぐっ…
わかんないだろ
永遠に
サヨナラかなんて
もし…
生まれ変わったら
お前のことも
救えるくらい
強くなるから
ポタ…
その時は
また会おうな
アサト……

今回の書下ろしページで『禊』を書こうと思ったのは、
単純に透とアサトのエロが書きたかった…というのもありますが(笑)
本編を書いていた時から、どうしてもアサトが透にしたことを
贖罪できてなかったな〜というのが引っ掛かっていたからです。
いくら弟を救ってもらったからといって、それとこれとは別だろうと…。
透の心に深い傷をつけたままめでたしめでたしで良い気がしませんでした。
A型だからでしょうか…。
『転機』でも描いたように、アサトは自分の性癖と欲望に任せて
透を犯してしまったことを後悔しています。
なので、透が来訪したとき、絶対あの時のことだろ〜〜！！と察しはついています(笑)
アサト的にはやったことはやったことなので、償えと言われれば
殴るなり刺すなり気が済むまでさせてやるつもりでしたが、
全然核心に触れてこない透に「はよせえや！」とイラ立って
前半あんな不機嫌だったりします。
何度も自分からそのことに触れて煽っているのも、話題を誘導してるつもりのようです。
(プライドが高いので、素直にあの時はすまなかったとは言えないし、
謝ったところで…とも思っています)
対する透は、モヤモヤしつつも人がいいので、されたこと自体は恨んでいないのですが
トラウマの克服の結果、妙な性癖に目覚めてしまって悩んでいる状態です。
なお、アサトを引っ張りまわしたのは、得体のしれない男のアサトにだって
自分が理解できる部分がある！
と思いたくて提案した…という流れです。(ありませんでしたが)
あとは普通に、せっかく再会したアサトと楽しい時間を共有したかったのでしょう。
アサトの境遇に思うところもあったようですし。
このコースは、弟の遥が目覚めた後、連れて行ったコースでもあります。

そんなこんなで、透の中でも少しはトラウマが解消できた？かな？と思いますが
本来ならここで森(一般社会)に返す予定だった透ですが
なんか気に入ってしまったので「永遠にサヨナラ」と言われてますが
多分今後もなんかの縁によってアサトらと会うことになりそうです(笑)
それはまた、別のお話ということで…。

【奥付】

不死鳥と毒薬　-皇女のカメオ-
発行日：2023年10月8日
著者：藤吉 優歩(ソラルカ)
soraruka93@gmail.com
pixiv：pixiv.net/users/25243869
X:https://twitter.com/K_yuho_cat
印刷所：大陽出版様

☆Special Thanks☆

なまきず
(表紙デザイン他)